

35. (公社) 福島県診療放射線技師会ホームページのアクセス解析から見た会員および一般住民への情報伝達について

(公社) 福島県診療放射線技師会 ネットワーク委員会 ○石森光一

齊藤聖二 渡辺 進 伊藤 敬 小林 瞳

末永徳明 田代雅実 菅野和之 新里昌一

【経緯】

2013年6月に(公社)福島県診療放射線技師会のホームページ(以下:当会HP)の全面リニューアルを行ったが、匿名のインターネット上では訪問者の意見が直接貰えないため、ページ掲載情報や新たなページ作成などを委員の中でアイデアを出しあい試行錯誤しているのが現状である。

【目的】

匿名のインターネット上における当会HP訪問者の動向を分析したので報告する。

【方法】

以下の項目に関し、2013年6月から現在までの取り組みを振り返った。

1. 運用管理の検討
2. リニューアルからの作業進捗
3. HPデザインの変更
4. HPの構成
5. HP掲載における情報管理の工夫
6. 新たに作成したページ
7. 新たなサービス開始

【使用機器と使用サービス】

1. ホスティングサービス
OCNメール&ウェブビジネス ライト
2. ホームページ作成・更新・コードの埋め込み
BiND7・BiND8 (DIGITAL STAGE社)
3. トラッキングコードの発行および解析
Google Analytics (Google社無償提供)

【方法】

Googleが無償提供する解析ツールを使用し、調査期間における以下の匿名性情報の収集と分析を行った。

1. 調査期間
2013年6月から2016年8月まで(※HP運用管理担

当者の内部アクセスは除外している。)

2. 分析項目

以下の項目での分析を行った。

- 1) トップページ月別訪問数の変化
- 2) 辿り着くまでの参照元とその割合
- 3) 参照元の内訳(上位3位)
- 4) 訪問検索での検索ワード(上位3位)
- 5) 年毎の閲覧端末の割合の推移
- 6) 当会イベントへの住民参加の推移

【結果】

トップページ月別訪問数の変化をメールマガジン配信数と併せてFig.1に示す。リニューアルしてから2016年8月までの訪問数は32,044、月平均では822であった。あわせて同時に配信したメールマガジンの総配信数は228通、月約6通であった。メールマガジンの配信数に併せて訪問数が変動していることがわかった。



Fig.1: トップページ月別訪問数の変化

当会HPに辿り着くまでの参照元とメディア、その割合をFig.2に示す。トップページ以外、当会HP内のリンク、個人のブックマークやメールマガジンなどの直接リンクからの訪問が半数以上を占めていることが分かった。

参照元の割合から、訪問者がどのサイトから、また、どんな検索エンジンを使用し、どんな検索ワードで当

会 HP にたどり着いているのか上位3つを Fig. 3 と Fig. 4 に示す。どのページも、メールマガジンのリンクやウェブブラウザのブックマークでの訪問が多く、続いて大手検索サイトである Google や Yahoo を使って訪問していることがわかった。さらに検索訪問における検索ワードの上位3つを調べてみた。一部人名や病院名が含まれている部分もあり、個人情報保護の観点から記号に置き換えている。どのページも「not provide」が検索一位となっていた。これは Google 検索によるもので検索者のプライバシー保護観点で、検索キーワードが提供されなかったことを示す。これ以外の言葉に着目すると、検索ワードでは「放射線」を含む言葉が多いことが分かった。

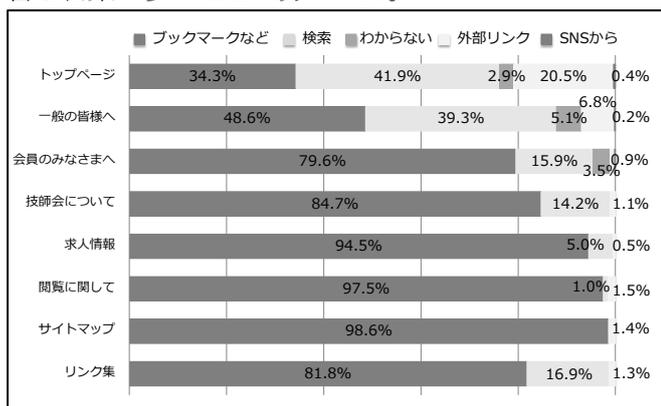


Fig.2: 当会 HP に辿り着くまでの参照元とメディア

	トップページ 訪問数 32,044	一般の皆様へ 訪問数 3,558	会員の皆様へ 訪問数 16,813	技師会について 訪問数 1,988	求人情報 訪問数 3,997
1	ブックマークなど 35.7%	ブックマークなど 52.0%	ブックマークなど 82.9%	ブックマークなど 84.7%	ブックマークなど 94.6%
2	Yahoo 23.9%	Google 22.5%	Google 6.9%	Google 6.9%	Yahoo 2.6%
3	Google 17.0%	Yahoo 15.6%	Yahoo 6.5%	Yahoo 6.0%	Google 1.7%

Fig.3: 参照元の内訳

	トップページ 検索件数 13,431	一般の皆様へ 検索件数 1,398	会員の皆様へ 検索件数 2,669	技師会について 総訪問 283	求人情報 検索件数 198
1	not provided 37.2%	not provided 33.3%	not provided 48.5%	not provided 48.4%	not provided 34.9%
2	福島県放射線技師会 24.4%	福島県放射線技師会 5.8%	福島県放射線技師会 6.9%	▲ 3.5%	■病院放射線技師 待機手当 6.1%
3	福島県放射線技師会 5.7%	福島県放射線技師会 4.3%	mri 危険 4.8%	●福島 放射線 2.8%	福島県放射線技師会 5.1%

Fig.4: 検索訪問での検索ワード

年毎の閲覧端末の割合の推移を Fig. 5 に示す。2013 年はパソコンでの閲覧が約 9 割ちかくであったのに対し、2016 年は約 8 割に縮小。それに対してスマートフォンとタブレット端末による閲覧が増えていることが分かった。

当会イベントへの住民参加の推移を Fig. 6 に示す。HP リニューアル後に徐々にではあるが参加者数が増加したが、現在は一桁の参加者数となっていることが分かった。

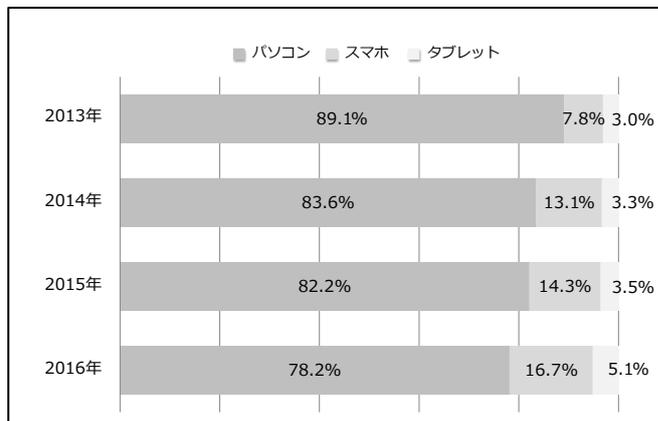


Fig.5: 年毎の閲覧端末の割合の推移

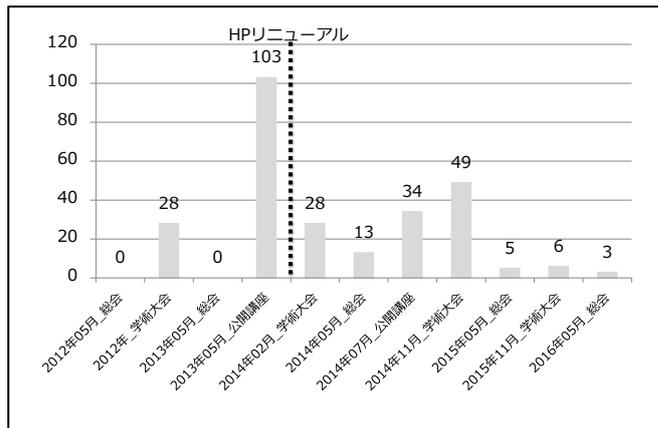


Fig.6: 当会イベントへの住民参加の推移

【考察】

トップページのアクセス数はメールマガジンの配信数に左右されていることがわかり、アクセス数の増加にはメールマガジン等のサービスが必要であると考えられる。参照元/メディアではトップページ以外では当会 HP 内のリンク URL からの移動がほとんどで、メールマガジンの効果ではないかと考える。閲覧端末の割合で、スマホ・タブレットでの閲覧が増えてきた。この理由として、パソコンと違い 1 人 1 台または複数台持てるようになった事、どこでも閲覧できる環境が構築できた事によるものと考えられる。訪問者が当会 HP に訪れる方法として Web ブラウザのブックマークや放射線に関する用語での検索訪問が多く、原発事故後の関心の高さを示しているのではないかと考え、公開講座への参加者数の一時的な増加につながっているのではないかと考える。

【まとめ】

震災とそれに伴う原発事故をきっかけに、当会が一般住民から放射線に対する専門集団として認知されていると考えられ、当会 HP からの情報発信・公開の必要性がさらに高まると考える。今後の課題は、スマートフォンやタブレット端末にも対応した表示が行えるレスポンス Web デザインを用いた HP 構築の模索とフェイスブックなどの SNS 利用の検討である。

